



<浜田市内小学校 15 校の実践一覧>

学校	学年	教科等	学習・活動の名称	関係機関・団体等	頁
原井小	5	社会	水産業のさかんな地域（浜田漁港見学）	浜田市役所 水産振興課	1
松原小	5	総合	浜田の海の魅力をさぐる	浜田市三隅B&G海洋センター、 しまね海洋館アクアス	2
石見小	4	総合	川の生き物を調べよう	しまね海洋館アクアス	3
美川小	5・6	体育	カヌー体験・着衣水泳	浜田市三隅B&G海洋センター	4
周布小	3	総合	くらし発見浜田のじまん	浜田港公設市場	5
長浜小	4	総合	海ゼロウィーク2024への参加	島根県廃棄物処理課 長浜まちづくりセンター	6
国府小	4	総合	こくふっこ環境調査隊 [ふるさと国府の海]	しまね海洋館アクアス、浜田市環境課、まち づくりセンター、渚の交番be	7
三階小	5	総合	浜田の海や水産業について学ぼう	島根県水産技術センター 渚の交番be	8
雲城小	5	総合	藻塩づくり体験	渚の交番be	9
今福小	3・4	総合	環境を考えよう	しまね海洋館アクアス 久佐まちづくりセンター	10
波佐小	全校	体育 生活 総合	浜田の自然を味わおう	浜田市三隅B&G海洋センター 渚の交番Be 金城山岳会	11
旭小	3	総合	カヌー体験&水辺の安全教室	三隅B&G海洋センター	12
弥栄小	3~6	体育	着衣水泳体験をしよう	渚の交番be	13
三隅小	4	総合	ふるさと三隅の環境について考えよう	しまね海洋館アクアス 三保まちづくりセンター	14
岡見小	1・2	生活	サツマイモを育てよう	岡見まちづくりセンター	15

※総合：総合的な学習の時間

<浜田市内幼稚園の実践一覧>

園名	学習・活動の名称	関係機関・団体等	頁
浜田幼稚園	身近な海での遊びを楽しもう	長浜まちづくりセンター 渚の交番Be	16

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立原井小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5	社会	水産業のさかんな地域（浜田漁港見学）
めあて・目標		浜田の漁港や市場を見学し、浜田市の水産業についての理解を深める
関係機関・団体等		浜田市役所 水産振興課
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>○9月20日（5年2組） 9月25日（5年1組） 社会の学習の一環として、浜田漁港に見学に行った。</p> <p>はじめに、浜田市役所 水産振興課の職員の方から、浜田の漁業についての説明を聞いた。とれる魚の種類や生産額、漁法について教えていただいた。魚にまつわる〇×クイズでは、魚の名前の由来や似ている魚との見分け方を学ぶことができた。また、浜田がブランド化している「どんちっち三魚」についても詳しく知ることができ、浜田の漁業を誇りに思うことができた。</p> <p>次に、市場やおさかなセンターへ行き、魚の水揚げや仕分けの様子、魚が売られているお店を見学した。子どもたちはとても興味をもって見学し、お店の方に自ら質問をする様子も見られた。</p>		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
浜田市役所 水産振興課の方に説明や案内をしていただくことで、児童が詳しい知識を得たり、興味をより高めたりできるようにと考えた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な説明をしていただき、実際に五感を通して見学したことで、児童の興味関心を高めることができた。</li> <li>・この学びがこの場で終わることなく、これをきっかけにして浜田の漁業に関心を持ち、海の世界やこれからの漁業について考えていくことができる子どもを育てていくことが大切である。</li> </ul>		

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立松原小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5	総合的な学習の時間	浜田の海の魅力をさぐる
めあて・目標		浜田の海で遊ぶ活動を通して、浜田の海の魅力を知り、浜田の海への愛着をもつ
関係機関・団体等		浜田市三隅B&G海洋センター、アクアス
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>○日時：令和6年7月16日（火） 場所：田の浦海岸</p> <p>田の浦海岸で、三隅B&amp;G海洋センターの方の指導のもと、海辺の安全教室・海遊びとカヌー体験を行った。実際に浜田の海に入って遊びを体験することで、浜田の海の魅力を知り、海への愛着を感じられるように活動を計画した。海遊びの楽しさ、海の美しさとともに、海岸には海洋ごみが多くあり、中でもプラスチックゴミが多いことを学ぶことができた。また、海は楽しいだけではなく危険も多くあることを学び、ライフジャケットを着用することの大事さを体感した。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>○日時：令和6年10月16日（水） 場所：瀬戸ヶ島海岸</p> <p>瀬戸ヶ島海岸で、アクアスの方の指導のもと、つり体験を行った。事前にしかけづくりの指導にも来ていただいていたおかげで、竿に釣り糸をつけたり、えさのゴカイをつり針につけたりと、苦戦しながらも次第に慣れていった。タイ、カサゴ、カワハギなどが釣れ、それぞれ家に持ち帰った。魚のことだけでなく、釣り針（金属）や釣り糸（プラスチック）が分解されるまでには数百年かかることなども学び、魚つりを通して、海の環境問題を考えるきっかけとなった。</p>		
<p>海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海に実際に入り、楽しむ活動を取り入れることで、その後の総合的な学習の中で取り組む「海を知る」や「海を守る」活動への導入となるように計画した。</li> </ul>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海で遊んだ経験を通して、海に対する愛着や海を守っていきたいという気持ちをもつことができた。</li> <li>・海には様々な海洋ゴミがあり、生物や環境への影響が大きいことに気づくことができ、その後の調べ学習につながった。</li> <li>・海での活動は天候に左右されるので、延期の可能性も含めて早めに計画を立てておくことが必要だと感じた。</li> </ul>		

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	川の生き物を調べよう
めあて・目標		今井迫川の生き物探しを通して、生物からわかる川の環境を学び、浜田地区の環境に関心をもつことができる。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス
実施内容（期日、場所等を含む）		
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>川のイメージを広げよう！（ウェビングマップ）</li> <li>生き物調べ</li> </ul>	
5、6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>生き物調査（今井迫川）</li> <li>グループでまとめ作業</li> <li>図書を使って川の環境調べ（問題点や今後の課題等）</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコチャレンジ（各家庭で）</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりセンターで発表</li> </ul>	
(2学期に行ったゴミ問題の調べ学習の発表と合わせて)		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に自分たちが住む近くの川へ行き、川の中に入って生き物をつかまえたことで、どのような生き物がいるのか実感を伴って理解することができた。</li> <li>アクアス職員の協力により、専門的なことを教えていただくことができた。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住む近くの川は汚いと思っていた児童も、実際に川へ行き調査を行ったことで、きれいな川であるということに気づくことができた。</li> <li>アクアスの方からお話を聞いたり、調べ学習を進めたりするなかで、きれいな川を守るために自分たちにできることを1人1人が考え、各家庭でエコチャレンジとして取り組んだ。</li> </ul>		

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立美川小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5・6	体育	カヌー体験・着衣水泳
めあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌー体験を通して、自然（海）の良さを知る。</li> <li>・川や海等で水難事故に遭遇した場合でも、落ち着いて自分の命を守る行動ができる。</li> <li>・着衣のまま水に浸かる体験を通して、着衣泳の難しさや恐ろしさを知る。</li> </ul>
関係機関・団体等		B&G海洋センター
実施内容（期日、場所等を含む）		
【日時】9月6日（金）9：00～12：00		【活動場所】田ノ浦海岸（三隅町）
 <p>「海ごみゼロ」の紙芝居で海洋汚染が深刻化している現状を教えていたが、自分たちができることから始めていくことを学んだ。</p>		 <p>着衣水泳を行った。上の写真は、靴や服のままでも浮くことを、下の写真は、ペットボトルなどを持つだけでも浮くことを体感した。</p>
 <p>パドルの動かし方を教えていただき、早速海へ。海岸線からどんどん海へ出ていく子どもたちのたくましさを感じた。</p>		 <p>今年度は海で着衣水泳を行った。昨年度プールで行った経験を生かしながら、活動を進めた。指導者の方の教え方が丁寧で、わかりやすかったので、児童が主体的に活動に臨むことができた。</p> <p>カヌー体験は、ほとんどの児童が初めてだった。活動前のポイントを絞った指導のおかげで、安全で楽しい活動となった。児童一人一人</p>
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水難事故での正しい対処方法や救助方法を身に付けるために講師を依頼した。</li> <li>・安全面を配慮し、活動に適した時期を考えて計画した。</li> <li>・豊かな自然を満喫し、ふるさと浜田への愛着がもてるようにした。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・服を着て水中に入ると動きづらさはあるものの、仰向けの状態で手足を伸ばし、脱力することができれば、少なからず命を守る動きにつながるということが理解できた。</li> <li>・ほとんどの児童がカヌー初心者だったが、パドルを使って全員沖まで行くことができた。</li> <li>・気候変動による生態系への影響や、深刻な海洋汚染について、自分事として考えていく機会を得ることができた。</li> </ul>		

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立周布小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
3	総合的な学習の時間	くらし発見浜田のじまん
めあて・目標		浜田の漁業について学習する活動を通して、ふるさとに対する誇りや大切にしようとする気持ちを育てる。
関係機関・団体等		浜田港公設市場
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>日程： 9月10日（火） 【浜田港公設市場】</p> <p>浜田市の重要産業の一つである漁業について学ぶために浜田港公設市場を見学した。浜田市役所水産振興課の方のご協力のもと、浜田で獲れる魚の種類や漁獲方法について学んだり、施設の見学をしたりすることで、浜田の魅力を深く理解する機会を設けた。</p>		
		
ふるさと教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>浜田市が漁業で有名なことは児童も認識しており、「どんちっち三魚」などを児童もよく知っていた。しかし、実際の漁の様子や、漁港の役割については知らない児童が多かった。今回は座学と見学を組み合わせることで学習を進めた。まずは座学で漁の仕組みや漁港の役割、また他の地域と浜田港の違いについて学んだ後、実際に漁港の設備を見学することで実感をもって学ぶことができた。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>調べ学習や体験学習を通して、浜田市が全国的にも有数の漁港をもつことが分かった。また、水産振興課の方が「魚クイズ」をしてくださったことをヒントに、子ども達も調べたことをクイズにまとめ、友だち同士で発表し合った。より親しみやすい形にまとめることで、学習に意欲的に取り組むことにつながった。</p>		

学校名		浜田市立長浜小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	海ゼロウィーク2024への参加
めあて・目標		海岸漂着物やその環境への影響について理解し、環境を大切にしようという気持ちを高める。
関係機関・団体等		島根県廃棄物処理課 長浜まちづくりセンター
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>7月16日、県の廃棄物処理課の方の出前講座「漂流物があたえる環境問題」を受講した。児童は、海を漂うごみの量の増加やマイクロプラスチックの問題など、人間の出すごみが環境に与える影響の大きさに驚いていた。また、島根県では海ごみ問題の解決に向けて様々な取り組みがなされていることを知ることができた。</p> <p>出前講座での学びを活かし、3回にわたって熱田ビーチの海岸清掃を行った。長浜まちづくりセンターの方のご協力をいただき、地域ボランティアの方と一緒に一生懸命地域の浜の清掃を行った。振り返りでは出前講座での学びとつなぎ、掃除が終わってきれいに見える浜辺にも、たくさんのマイクロプラスチックがあることにも気づいた。また「思ったよりたくさんのごみがあり、驚いた」「地域の方が分別について優しく教えてくださって嬉しかった」「自分たちが住む浜田の海を綺麗にしたい」等、それぞれに様々な思いをもった。</p>		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
○海ゼロウィーク2024（しまエコ活動）への参加 出前講座を受講してから海岸清掃を行ったことで、海ごみ問題と自分たちの地域の環境問題とを結びつけて捉えることができるようにした。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
○海ごみ問題と海岸にあるごみの多さを実感し、きれいな環境を大切にしていこうという思いをもつことができた。 ○自分たちにとって身近な自然環境である海岸をきれいにしようという熱心に活動する姿が見られた。		

学校名		浜田市立国府小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	こくふっこ環境調査隊 [ふるさと国府の海]
めあて・目標		地域の川や海の水質調査をとおして、水辺の環境保全に興味をもち、環境を守る活動や環境の大切さを発信する取組から、ふるさとの自然を守っていこうとする態度を育てる。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス・浜田市環境課・まちづくりセンター・渚の交番be
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>1 課題設定〔活動の中から問題意識をもち課題を設定する〕（25時間） ふるさとの海（豊ヶ浦）と川（久代川）をフィールドワークして、生き物が豊かに暮らす環境があるかを調査した（写真①）。また、アクアスや地域の方のお話を聞き、さらに詳しく実態を把握することができた。国府には、きれいな水質でないと生きられない生き物が多く生息しているということが分かったが、海岸にたくさんのごみが打ち上げられていることにも気づき、海や川の生き物を守るために環境をよくする取組を学習課題として設定した。</p>		 
<p>2 探究的な学習〔問題についての知識を広げていく〕（15時間） ふるさとの海の環境をよくするために国府海岸のごみ拾い計画を立てた。まちづくりセンターをとおしてポスターを配り、ごみ拾いの参加者を募った。（写真②）拾い集めたごみはどこからきたものか、環境にどのような影響を与えているかについて、市役所環境課の方から教えていただいた（写真③④）。海岸にあるごみの多くが外国から運ばれてきたものであることを知り、大量のプラスチックごみが生き物の命を脅かしていることに危機感を募らせる児童が多かった。</p>		 
<p>3 課題解決的な学習〔自分達で考えた解決の方法をやる〕（14時間） 環境を守るために、本で調べた方法や環境課の方から教わった方法を実生活で生かそうと考えた。活動をとおして書き溜めてきたポートフォリオの中から、学んだことや活動の感想を抜き出して台本にし、プレゼンテーションで保護者に発表した（写真⑤）。また、模造紙にまとめた物も掲示した。「ふるさとの海をみんなで守りましょうというメッセージを伝えることができ嬉しかった」という思いをもつ児童が多かった。</p>		
<p>4 学習のまとめと振り返り〔1年間の学習をとおして学んだことを振り返る〕（8時間） 児童が環境についての活動をとおしてどんな学びがあったかをグループごとに話し合う中で、環境への意識が高まっていることに気付くことができた。</p>		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
活動ごとに全体での振り返りの時間を取り、学習の方向性を児童が考えられるようにすることで、ふるさとの海の環境を自分達で守りたいという主体的な学習になった。また、地域の方と一緒に活動する時間を設定することで、地域の方々の国府の海への思いを児童が直接感じられる場面が多く見られた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
1年間の活動をとおして、ふるさとの海への愛着が増し、環境を守ろうという実践意欲が高まった。しかし、環境問題を考えていく時には、問題の背景となる社会的な知識をどのように学ばせていくかということが本実践の課題として残った。		

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立三階小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5	総合的な学習の時間	浜田の海や水産業について学ぼう
単元又は授業等のめあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田市の海・水産業への興味・関心を高める。</li> <li>・水産業について、調べたり、話を聞いたり、見学したりしたことをまとめる。</li> </ul>
関係機関・団体等		島根県水産技術センター・渚の交番be
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
		
島根県水産技術センターの見学（9月24日）		海遊び体験（7月8日 渚の交番 be）
<p>○浜田の海や水産業について学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本やインターネットを活用して、水産業について調べた。</li> <li>・島根県水産技術センターへ行き、センターの方の話を聞いたり、施設内を見学したりした。</li> <li>・浜田市の水産業について調べたことを新聞にまとめた。</li> <li>・浜田市の海洋教育プログラム（ビーチクリーン・海遊び）を体験した。</li> </ul>		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門的な立場の方（島根県水産技術センターの方）からの話を聞く学習を設定したこと。</li> <li>○島根県水産技術センターの施設見学を設定したこと。</li> <li>○体験を取り入れたことで、海の「楽しさ」を味わうことができるようにするとともに、「ビーチクリーン」によって、海岸清掃をし、「環境保全」の視点から海を考えられるようにした。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○浜田市の水産業について本やインターネットで調べたり、話を聞いたりすることを通して、浜田市の海や水産業への興味・関心が高まった。</li> <li>○水産資源の豊かさに気付き、浜田市の海、水産業は浜田の誇りであると考えていた。また、海遊び体験を通して、浜田の海により愛着をもつことができた。</li> <li>○環境保全の視点から海を考えることで、ごみを不法投棄しないなど、自分たちの生活と海の環境保全の関わりについて考えることができた。</li> </ul>		

学校名		浜田市立雲城小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5	総合的な学習の時間	藻塩づくり体験
めあて・目標		地元、浜田の港で海にかかわる仕事について知る活動を通して、ふるさと浜田に対する愛着を深めたり、ふるさとの良さに気づいたりする。
関係機関・団体等		渚の交番 be
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>令和6年11月20日（水）、浜田港近くの渚の交番にて5年生児童17名で活動を行った。</p> <p>活動では、まず、原料となる「かじめ」のことや、くみ上げる海水の話、昔の藻塩作りの様子についての説明を聞いた。昔から作られてきた方法で、海水を煮詰めて作り出した塩は、体にやさしく味もまろやかだと聞き、児童はどんな塩なのか楽しみにしていた。なぜ「藻塩」というのか、なぜ色がついているのか等、知らないことばかりで、児童は大変興味をもって説明を聞いていた。また、理科で水溶液の学習をしたばかりだったので、結晶や塩分濃度などの話も理解しながら話を聞くことができた。</p> <p>次に、グループに分かれて藻塩づくりを行った。カセットコンロ、片手の雪平鍋といった身近な道具から藻塩が作れることに驚いていた。鍋に「海水」と「かじめ」を入れ、ひたすら煮込む中で次第に煮汁の色が変化していく様子を興味深く見たり、藻塩のおいしさと手軽に作れる工程に感心したりする児童が多かった。また、活動を行いながら、児童自身もふるさとのよさに気づき、大切にしたいという気持ちを抱くこともできた。</p> <p>出来上がった藻塩は、学校で浜田市食生活改善推進協議会の協力のもと、小国地域の方と一緒に作った米を炊いて「おにぎり」にしたり、藻塩からあげにしたりして食べた。浜田のお宝としての「ふるさとの味」を味わうことができた。</p>		
		
ウニが入った水槽		藻塩作り
		藻塩の袋詰め
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動が総合的な学習の時間に連動するように年間指導計画を立てた。</li> <li>・合科的な学習になるように関連づけた活動にした。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間で学んだ他の活動と関連付けている様子が見られた。</li> <li>・浜田の魅力を感じ、もっと知りたい、調べたいという意欲をもつことができた。</li> </ul>		

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立今福小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
3・4年	総合的な学習の時間	環境を考えよう
めあて・目標		久佐川の様子を観察したり生き物を調べたりし、身近な河川の環境を大切にしようという気持ちを育てる。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス 久佐まちづくりセンター
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>【日時】 令和6年7月10日（水）9：30～11：45</p> <p>【活動場所】 久佐地区久佐川</p> <p>はじめに、しまね海洋館アクアスの方から、川での生き物の採り方などについて説明を受けてから川へ入った。各々がたもやバケツを持ち、生き物探しをした。アクアスの方の指導を受け、草の生えているところや岩の裏などに生き物を見つけることができると、嬉しそうにしていた。生き物を見つけるだけでなく、流れる水の透き通った様子や冷たさ、歩いた時の川底の感覚も楽しんでた。</p> <p>まちセンへ移動し、見つけた生き物を見せ合った。アクアスの方から、生き物の名前やどんな環境に住む生き物なのかを教えてもらった。見つけた生き物が、きれいな環境の川に住む魚や昆虫であることがわかると、嬉しそうだった。</p> <p>学校では、川の生き物の名前や生態だけでなく、海や森の環境について、生き物や人間の生活と関連付けながら調べた。</p>		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面を考慮し、適した時期を考えて活動計画を立てた。</li> <li>・関係機関と活動場所の下見を行い、学習のねらいや活動内容、安全面などの共通理解を図った。</li> <li>・環境や川の生物の本を教室に置き、意欲を高めたり調べ学習に役立てたりした。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の中に入ることや生き物に抵抗を示していた児童が、他の児童の様子を見て、だんだんと楽しそうに活動するようになった。</li> <li>・ひざまで水につかって自分で生き物を採取することで、川のきれいさや川底の感触を実感したり、ふるさと川にすむ生き物への関心をより高めたりした。</li> <li>・アクアスの方の専門的な話を聞くことで、生き物と環境とを関連付けて考えられた。</li> <li>・アクアスの方とまちづくりセンターの協力により、日頃できない貴重な体験ができた。ふるさと浜田のよさや地域の人々の温かさを感じることでできる活動となった。</li> </ul>		

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立波佐小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
全校	体育 生活科 総合的な学習の 時間	浜田の自然を味わおう
めあて・目標		浜田の海、波佐の方が多く働く大佐山で体験活動を楽しむことを通して、ふるさととの自然の豊かさや人の温かさに気づき、ふるさとへの愛着やほこりを醸成する。
関係機関・団体等		浜田市三隅B&G海洋センター 渚の交番Be 金城山岳会
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>■カヌー体験</p> <p>【ねらい】○集団活動を通して、児童相互のふれあいを深めたり、児童の望ましい成長を図ったりする。 ○浜田市の宝である「海」での自然体験活動を通して、海の大切さや海で遊ぶ楽しさを味わい、ふるさとへの愛着をもつ。</p> <p>期日：令和6年7月18日（木） 場所：浜田市三隅B&amp;G海洋センター 講師：浜田市三隅B&amp;G海洋センター指導員</p>  		
<p>■つり体験</p> <p>【ねらい】○集団活動を通して、児童相互のふれあいを深めたり、児童の望ましい成長を図ったりする。 ○浜田市の宝である「海」での自然体験活動を通して、海の大切さや海で遊ぶ楽しさを味わい、ふるさとへの愛着をもつ。</p> <p>期日：令和6年10月25日（木） 場所：渚の交番Be 講師：渚の交番Be指導員</p>  		
<p>■スキー教室</p> <p>ねらい ○学校での体育学習を総合的に生かしながら、6年間を通してスキーの技能を習得する。 ○雪の上で楽しく活動し、元気な体をつくる。 ○助け合う気持ち・挑戦する気持ちを育てる。 ○ふるさととの自然の恩恵や地域の方々の支援・協力に感謝する心を育てる。</p> <p>期日：令和6年 1月24日（金） 場所：大佐スキー場 講師：金城山岳会</p> 		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>○海から離れた地域であるため、海での活動を2回計画した。低学年でも安全に安心して活動できるよう、専門的に指導をしていただける、三隅B&amp;G海洋センター、渚の交番Beの方に指導をお願いした。</p> <p>○少人数のため、それぞれの活動の指導者の方と身近に接することができる。活動の中で、その方々とのコミュニケーションを通じて、児童のコミュニケーション能力を育成することも期待した。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>○カヌー体験、つり体験では海での活動を楽しむだけでなく、海辺の安全指導を受けたりごみ拾い活動をしたことで、海での活動を安全面、環境保全の面からも考えるきっかけとなった。</p> <p>○継続して行っているスキー体験では、それぞれの児童が自分の新たな目標をたて、挑戦する姿が見られた。身近にスキー場があるため、また行きたいという声が多く聞かれるなど、冬の自然体験を日常生活でも楽しんでいる様子が伺えた。</p>		

学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
3	総合的な学習の時間	カヌー体験&水辺の安全教室
めあて・目標		浜田市の宝である「海」での自然体験活動を通して、海の大切さや海で遊ぶ楽しさを実感し、ふるさとへの誇りと愛着をもつことができる。
関係機関・団体等		三隅B&G海洋センター
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>9月11日（水）、田の浦海岸、三隅B&amp;G海洋センター艇庫前の海岸で、カヌー体験と水辺の安全教室を行った。</p> <p>最初に三隅B&amp;G海洋センターの方から、水辺の安全について説明を受けた。児童は、説明を聞き、水に対する怖さを感じるとともに、安全に活動しようとする意識が高まった。</p> <p>その後、カヌー体験を行った。活動中は、カヌーに慣れることで、安全に操作できるようになった。また、最初は、怖がっていた児童もいたが、ライフジャケットを着ていることで、安心して活動することができた。</p> <p>児童は、時間いっぱい熱中してカヌー体験に取り組んでいた。また、体験したいという感想が多く、普段は体験できない水辺の活動の魅力を感じていた。ぜひ海上での体験を今後も継続したいと考えている。</p>		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海からは離れた地域に住んでいるので、海等で扱う器具を使用し、五感で体験できるようにした。</li> <li>○ 三隅B&amp;G海洋センターの方に講師を依頼し、海の安全について指導してもらうことで、海に対する興味・関心が高まるようにした。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講師の方に水辺の安全についての話をさせていただくことで、水辺の安全への興味・関心が高まった。</li> <li>○ 初めてカヌー体験をする児童が多く、最初は怖がっていた児童もいたが、ライフジャケットの安全性を実感したり、カヌーの操作に熱中したりすることにより、水辺での活動の楽しさを実感することができた。</li> </ul>		

令和6年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立弥栄小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
3～6年	体育科	着衣水泳体験をしよう
めあて・目標		・水に関わる事故（水難事故等）について体験を通して学び、自分やまわりの人の命をまもる知識と基礎技術を知る。
関係機関・団体等		渚の交番 be
実施内容（期日、場所等を含む）		
1 期 日 令和6年7月10日（水）9：00～12：00		
2 場 所 渚の交番 be（浜田市瀬戸ケ島町）		
3 内 容		
<p>「海に親しみ、豊かな感受性や興味関心等を培い、体を動かしながらそれに進んで関わろうとする態度を養う。海の自然や資源、それをとりまく人や社会との深い関わりやその歴史について関心をもつ」「水に関わる事故（水難事故等）について体験を通して学び、自分やまわりの人の命をまもる知識と基礎技術を知る」ことを活動の目標に掲げ、「渚の交番 be」の方の指導をうけながら、「着衣水泳」を行った。</p> <p>最初に浜田ライフセービングクラブでの活動にもかかわっておられるスタッフのお話を聞いた。「安全ということに加えてふるさと浜田の海の美しさや、自身が活動を始めた理由なども聞くことができた。以下、子どもたちの感想である。</p>		
<p>◆うくのはペットボトルだけかと思っていたけどはっぼうスチロールや木のえだなどでもうくことができました。おぼれたときは、せうきが一番さいしょにやることなんだとわかりました。一人で川や海のちかくにいかにないようにしたいと思いました。（4年男子）</p>		
<p>◆私は、着衣水泳をして、一番心にのこったことは、ペットボトルの1リットル1本でうくことができるということです。服で泳ぐことはむずかしかったけど「大」の字になってプカプカ泳いだりしたらうくことができました。怖かったけれど、もし、おぼれそうになったら、今回学んだことをしよう！と思いました。（4年女子）</p>		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>誇りを持って活動しておられるスタッフの話を経験前に聞くことは今後も続けたい。子どもたちが海の安全や環境を守る意識をもち、浜田の海に愛着と親しみを持つためにも、「釣り体験」「藻塩づくり」「海遊び」に加え「着衣水泳」にも海辺で取り組む機会を持ちたい。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>「水に関わる事故（水難事故等）について体験を通して学び、自分やまわりの人の命をまもる知識と基礎技術を知る」という目標はおおむね達成できた。今後も、楽しい体験、郷土の自然・海洋に対する愛着と誇りを育てる教育活動を計画・実行したい。</p>		

学校名		浜田市立三隅小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	ふるさと三隅の環境について考えよう
めあて・目標		自分たちのふるさと三隅の環境について調べたり、環境保全にかかわる人々と体験的な活動をしたりすることを通して、地域の環境やそれに関わる人々の願い、思いにふれ、体験活動などから課題を見出し、解決に必要な情報を収集し、目的に応じて比較・分類・関連付けて考える力や相手意識・目的意識を明確にして表現する力を育てるとともに、人々に関わったり、暮らしやすい環境について考えたりしようとする態度を育てる。
関係機関・団体等		アクアス・三保まちづくりセンター
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>1. 総合的な学習の時間に、地域の自然環境について学習する。（6～7月）</p> <p>2. 地域の海岸に出かけ、海生生物を観察する。</p> <p>【6月】</p>		
  		
<p>3. 海岸の清掃活動を行う。</p> <p>【10月】</p>		
 		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
○自分たちの身近にある自然（海）の良さに気づかせることで、子どもたちの関心を高め、調査活動や体験活動に繋がるように計画した。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
○海での体験活動によって、海の生き物に関心をもったり、海での活動の楽しさを体験したりすることから、漂着ごみへの関心をもち、調査活動や海岸清掃を意欲的に行うことができた。		

学校名		浜田市立岡見小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
1・2	生活科	サツマイモを育てよう
めあて・目標		サツマイモの栽培を通して、収穫の喜びを味わうとともに、お世話になった方へ、感謝の気持ちを伝える。
関係機関・団体等		岡見まちづくりセンター
実施内容（期日、場所等を含む）		
<p>1. サツマイモの苗植え 6月17日 地域の方にも来ていただき、サツマイモの苗を植えた。</p> <p>2. サツマイモの収穫 10月21日 夏の間世話をしたサツマイモを、この日に収穫した。</p> <p>3. にっこりやきいもパーティー 11月22日 収穫したサツマイモを、まちづくりセンターで焼きいもにし、お世話になった皆さんと一緒にパーティーを開いて交流した。</p>		
   		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>単なる栽培活動にならないよう、「にっこりやきいもパーティーをしよう」という活動の最終場面を意識させながら活動した。</li> <li>栽培活動の場面では、畑のある学校に来ていただいたが、焼き芋づくりの場面は、まちづくりセンターに児童が出かけ、そこで活動を行った。</li> <li>苗植え、収穫と長期にわたって関わってくださった方々と、活動を振り返りながらパーティーを開き、楽しく交流する場面を設けた。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>サツマイモ栽培そのものは保育所で経験している児童もいたが、できたサツマイモを焼き芋にしてふるまうということについては、児童も大変楽しみにする姿が見られた。ボランティアの方々に、どのようにお礼を言うか、いっしょにどんな遊びをして楽しむか、それぞれに楽しみながら工夫することができた。</li> </ul>		

幼稚園名	浜田市立浜田幼稚園
対象	学び・活動の名称
全園児	身近な海での遊びを楽しもう
めあて・目標	<p>○身近な自然に触れると共に、自分達の住む町を綺麗にしようとする気持ちをもつ。</p> <p>○地域の方との関わりをもつ。</p> <p>○友達と一緒に、海辺で遊ぶことを楽しむ。</p> <p>○ビッグサップに乗ることで、諸感覚で自然を感じたり、解放感を味わったりする。</p>
関係機関・団体等	長浜まちづくりセンター・渚の交番「be」
活動の概要（期日、場所等を含む）	
<p>期 日 令和6年7月11日（木）</p> <p>場 所 熱田海岸</p> <p>参加者 園児20名 職員6名 地域ボランティア5名 見学保護者5名</p> <p>内 容 ・地域ボランティアの方や見学保護者と一緒に熱田海岸のゴミ拾いを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいになった砂浜でビーチフラッグを体験する。</li> <li>・救命胴衣を着て、ビッグサップ体験をする。</li> <li>・波打ち際で遊ぶ。</li> </ul>	
	
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）	
<p>海での遊びということで、安全面について特に配慮した。安全見守りの人数確保のために長浜まちづくりセンターにコーディネートを依頼し、地域ボランティアの方々の協力を得ることができた。</p> <p>さらに希望される保護者にも見学を兼ねて見守りを行ってもらったことで、安全に活動を行うことができた。</p>	
園児に見られた変容、取組の成果や課題等	
<p>幼稚園のすぐ近くにある熱田海岸へは、夏の時期に繰り返し出かけている。毎回、海岸のゴミ拾いを行ってから活動を始める習慣が身に付いており、子ども達からは「今日はゴミが少ないね。」「これは（ガラス片）危ないゴミだね。」「これは（シーグラスや貝殻）持って帰って遊びに使いたい。」と環境を大切にしようとする子どもなりの言葉が聞かれるようになった。今後は、新たな道路の整備により海岸での活動が難しくなるかもしれないが、できる限り継続して海辺での遊びを行っていきたい。</p>	